

事務事業名	配水設備拡張事業			担当	水道部 水道課 工務係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8168		
施策名	1	水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）			
予算科目	12.水道事業会計	4.資本的支出	1.建設改良費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（昭和41 年度～ 平成35 年度）			
事業概要	<p>真岡市水道事業では、昭和37年度事業に着手し、昭和39年度給水を開始した。その後、環境衛生や保健衛生など生活上の観点から、順次拡張を進め、現在第3次拡張事業により未普及区域への安全で安定した水道水の供給を図っている。</p> <p>また、二宮町との合併に伴い、平成21年度から二宮上水道事業及び二宮東部簡易水道事業についても、整備を実施してきたが平成25年度末に両事業を真岡市水道事業に統合した。</p> <p>事業の計画 真岡市水道事業 : 給水人口 80,089人・一日最大給水量 28,262m<sup>3</sup></p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 27年度実績 真岡地区については、第3次拡張事業に基づき上水道未普及地域及び各区画整理事業地内の整備を実施した。二宮地区については、地元要望等に基づき整備を実施すると共に、上水道未整備地域のアンケート調査を実施した。調査結果は、上水道が必要と答えた方が41パーセントであった。  28年度計画 真岡地区については、第3次拡張事業に基づき上水道未普及地域及び各区画整理事業地内の整備を実施する。二宮地区については、地元要望等に基づき整備を実施する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	配水管布設延長		m	4480	3,892	2,927	3,177	6,155	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 水道未加入世帯	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	計画区域内未加入世帯		世帯	3,240	3,104	3,114	3,225	3,226	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 上水道を利用可能にする。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	新規加入戸数		戸	553	359	315	273	315	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 清浄でおいしく、豊富で安全な水を安定供給する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	給水人口		人	67,597	67,812	67,782	67,367	67,064	
	イ		世帯	23,859	24,217	24,532	24,805	25,121	
	ウ		%	83.5	83.8	84.0	83.6	84.4	
	エ		%	60.7	62.6	63.7	67.8		
	オ								
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	48,000	58,000	27,000	53,000	64,000
			その他	千円	20,604	23,921	12,793	31,239	59,379
			一般財源	千円	25,572	9,665	36,786	16,276	153,997
			事業費計(A)	千円	94,176	91,586	76,579	100,515	277,376
	人件費		正規職員従事人数	人	5	5	5	5	
			延べ業務時間	時間	2,600	2,600	2,600	2,600	
			人件費計(B)	千円	10,925	10,566	10,975	10,894	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	105,101	102,152	87,554	111,409	288,270
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	<p>真岡市水道事業において、昭和41年度からの第1次拡張事業、昭和49年度からの第2次拡張事業、及び昭和59年度からの第3次拡張事業を始めたことによる。</p> <p>二宮上水道事業において、平成5年度からの第1期拡張、平成10年度からの第2期拡張、及び平成14年度からの第3期拡張、また、二宮東部簡易水道事業において、平成9年度からの第1期区域拡張、平成15年度からの第2期区域拡張による。</p>								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<p>真岡市水道事業では、幹線配水管網の整備はほぼ完了したことから、区画整理地内の配水管網の整備及び配水支管の整備に重点がおかれる。</p> <p>二宮上水道事業及び二宮東部簡易水道事業では、地域からの要望により配水支管の整備を実施している。</p> <p>平成21年度に実施した、二宮地区の上水道未整備地域のアンケート調査結果では、44パーセントの世帯が上水道を必要としている。</p> <p>平成25年度末で二宮上水道事業及び二宮東部簡易水道事業を真岡市水道事業に統合した。（計画目標年度：平成35年度 計画給水人口：80,089人、計画1日最大給水量：28,262m<sup>3</sup>）</p> <p>平成27年度に再度実施した、二宮地区の上水道未整備地域のアンケート調査結果では、上水道を必要としている世帯は41パーセントに留まっている。</p>								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>市民から配水支管の整備要望が提出されている。</p>								

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民すべてに安全な水を供給し、良好な生活環境を創造する。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全な水を供給することは、市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民皆水道を目標として事業を進めているところであり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民皆水道を目標として年次計画・地元要望に基づき事業を進めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 未整備地域への供給ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない この事業の他に類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 工事については、浅層埋設及び再生材の利用等によりコスト削減を図っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人数で実施しているので削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者が水道加入金及び水道使用料により公平な負担をしている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							